

## インドの医療機器メンテナンス人材の現状(1/2)

医療機器の保守・メンテナンス要員（MEまたはCE）について、日本における臨床工学技士のような国家による免許制度はインドにはない。医療機器メーカーや代理店、病院のいずれかにより採用されるメンテナンス要員は原則として4年制学位を持っている。加えて、医療機器のメンテナンスに従事する病院従事者のために、医療機器メーカーや病院も独自の研修プログラムを提供している。

しかし、国家資格としての免許制度が存在しないため、医療機器の保守・メンテナンス職は魅力的な職業選択肢としてインドの若者に考慮されていないのが現状である。病院で採用する医療機器の保守・メンテナンス担当者の給与は年間12,800米ドル程度とされ、医療機器メーカーが採用する医療機器の保守・メンテナンス従業員の給与は年間約16,000ドル程度である。彼らは病院から要求される迅速な保守・メンテナンスサポートを24時間365日提供するために、一般的に長時間の労働を強いられているとされる。

いくつかの大規模民間病院は、医療機器の保守・メンテナンスができるチームを院内に設置している。このような病院のチームに対しては医療機器メーカーによって機器の基本的なメンテナンスの方法を訓練されている。

## インドの医療機器メンテナンス人材の現状(2/2)

以下の図表にて、日印及びインドの病院では公立・民間別にMEに関する比較を行う。

図表・16 MEとしての資格及び業務内容の比較

	日本	インド	
		公立	民間
国家資格の有無	◎	×	
自院での教育体制 (日常点検チェックリスト、機器毎の点検マニュアル等の有無)	◎	×	△
メーカーの講習会受講	◎ 受講後の認定書に基づき院内での 部品交換（一部分）ができる。	△	○
メンテナンス人員数 (臨床ケアと兼務業務で人員確保が必要)	○	×	△
患者への直接的なケア	◎ 2014年診療報酬改定にてICU施設 基準にME業務が含まれた。	×	○
患者への間接的な指導	○ 腹膜透析や在宅での機器取扱いに ついて患者へ教育的指導を行う。	×	△
MEの技術力 (最新機器におけるバージョンアップに対応 し、部品交換修理が可能)	○	×	△
自院へのコスト貢献能力 (購入～廃棄までの間に、大掛かりな修理を未 然に防ぐ業務を行うことにより病院に対し てコスト貢献ができる。)	○	×	×～△

◎：優れて実施している    ○：実施しているが、ME個人の技量・経験に左右される傾向

△：施設によっては実施していない    ×：実施していない、または 無し

出所) 現地病院見学・ヒアリングを基に公益財団法人日産厚生会玉川病院作成